

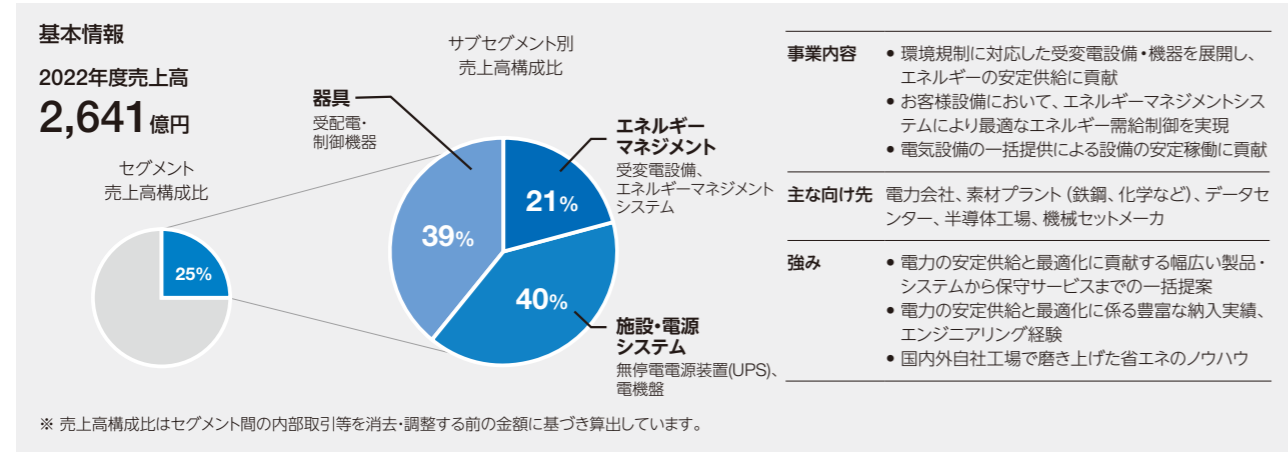
# セグメント別概況

## パワエレ エネルギー



**競争力ある製品開発の促進、  
エンジニアリング・サービス体制の強化、  
カーボンニュートラル関連の提案強化により  
事業拡大を図ります。**

執行役員常務  
パワエレ エネルギー事業本部長  
**河野 正志**

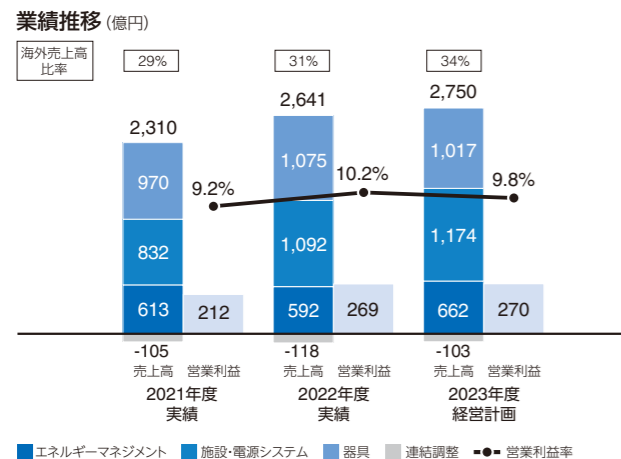


### 市場動向と事業機会

脱炭素社会の実現に向けたエネルギーの安定供給、最適化に関連する需要が、グローバルで急速に拡大しています。

| サブセグメント     | 市場動向と事業機会  |
|-------------|--|
| エネルギー管理システム | 受変電分野で継続している老朽化設備の更新需要に加え、政府による次世代エネルギー政策の補助金制度も後押しとなり、太陽光・風力発電・蓄電システム用パワーコンディショナなどカーボンニュートラル関連需要が拡大しています。 |
| 施設・電源システム   | デジタル化や5Gの活用などを背景としたデータセンター（IDC）事業者の設備投資拡大が継続しています。さらに先端半導体分野の工場新設・増設の投資も拡大により、電気設備まるごとビジネスの需要は継続的に増加しています。 |
| 器具          | 機械セットメーカの生産や需要の減少、および中国市場減速による需要低調が見込まれるものの、電気自動車（EV）投資や5G需要の投資回復などにより市場は緩やかに回復していく見通しです。                  |

### 2022年度実績・2023年度計画



2022年度は、施設・電源システム分野の国内外でのデータセンターおよび半導体メーカ向け案件の需要拡大、器具分野の国内を中心としたセットメーカ向け需要の拡大およびこれまでの固定費削減をはじめとする事業構造改革の抽出により、営業利益率は10.2%にまで高まりました。

2023年度は、器具分野の需要減少が見込まれるものの、電気設備まるごとビジネスの継続的な拡大などにより、売上高は対前年度109億円増加の2,750億円、営業利益は前年度並みの270億円、営業利益率は9.8%を計画しています。

### 重点施策

#### カーボンニュートラル関連ビジネスの受注拡大強化

中長期的な市場成長が期待されるカーボンニュートラル分野では、エネルギー需給バランスを維持するための系統蓄電池の導入、自家消費を目的とした需要家の再エネ導入などの引き合いが増加しています。エネルギー管理システム、電力安定化システムなどのコア商材に、自社におけるカーボンニュートラルに向けた取り組みで得たノウハウをあわせ、新規市場への受注活動を強化します。

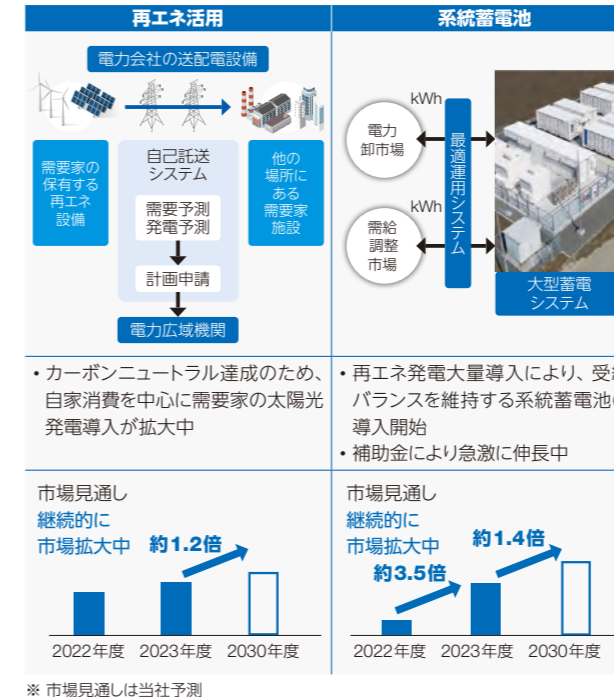
#### 受変電分野のグローバル新製品投入

受変電分野では、差別化商材の新規開発、市場投入による海外を中心とした売上拡大を計画しています。データセンターや化学プラントなどの防災性や環境規制が要求される分野に、天然エステル油を適用したグローバル変圧器、温暖化ガス発生を極小化し、縮小型受変電設備であるガス絶縁開閉装置(GIS)などの新製品を市場展開します。

#### データセンター向け電気施設まるごとビジネスの拡大

電気設備まるごとビジネスは、お客様の工期短縮と設備管理要員の削減に貢献し、高評価を獲得しています。日本での実績をベースに、海外ではワンストップ窓口の体制づくり、ローカルサービス人員の育成により、データセンター・半導体工場向け物量の増大に応じたサービス体制を強化し、韓国・東南アジアを中心に事業を拡大しています。

#### カーボンニュートラル関連商談の概要



データセンター市場は、大容量化が進んでいます。当社の大容量UPS7500WXシリーズは、業界最小クラスの設置面積と業界最高クラスの電力変換効率を併せ持ち、限られたサーバーの設置スペースのなかで高効率な省エネが可能です。2023年度は容量系列を拡大した2400kVAを新規に展開し、大容量化ニーズに対応します。

#### 器具の新製品の展開

主力製品である電磁開閉器では、小型化、高信頼化、配線性向上など市場ニーズへの対応とともに省エネ、再生可能材料の使用などによりカーボンニュートラルへ貢献する新製品を展開します。さらに中長期的に成長が見込まれる半導体製造装置、工作機械、データセンターなどの顧客に対するスペックイン活動を強化します。

#### 電気設備まるごとビジネス

##### 【ビジネス概要】

##### エネルギーの安定供給

システム設計～据付工事～保守サービスまで一括提案



主な納入先 データセンター 半導体工場

#### IDC・半導体工場向け売上推移

